



令和4年度における観光振興の取組状況について

福岡県商工部観光局観光政策課

令和4年9月28日



1 第二次福岡県観光振興指針（2020年度～2023年度）について ①

● 目指す将来像 ⇒ 「持続可能な観光先進県 福岡」

基本方針

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 戦略的なインバウンド誘客による旅行消費額の拡大 | 3 デジタルマーケティングの推進 |
| 2 旅行者の県内各地への来訪促進 | 4 持続可能な観光の推進 |

● 施策の柱と方向性

観光振興の基本的な考え方

1 受入環境の充実

全ての旅行者が快適に旅行を楽しめる環境整備

2 観光資源の魅力向上

旅行者の県内各地域への来訪促進

3 効果的な情報発信

本県の認知度向上、東南アジアや欧米豪等からの更なる誘客促進

4 観光振興の体制強化

客観的データに基づく施策立案体制の確立、観光関連団体・事業者の人材育成 など

施策の方向性

- ① 誰もが快適に観光できる基盤づくり
- ② 観光振興と地域の調和の推進
- ③ 外国人旅行者の安心・安全な受入環境づくり
- ④ 国際航空路線の誘致
- ⑤ 魅力ある観光資源の発掘、磨き上げ及び活用
- ⑥ 体験、交流、滞在型観光の推進
- ⑦ SNS等を活用したプロモーションの推進
- ⑧ ターゲットに合わせた情報発信
- ⑨ 各県・市町村等と連携した広域周遊に係る情報発信
- ⑩ 客観的データに基づく施策立案体制の確立
- ⑪ 各地域の観光を支える人づくり
- ⑫ 県内の観光関連団体の機能強化
- ⑬ 広域観光の振興に係る九州観光推進機構との連携
- ⑭ 宿泊税を活用した市町村への支援

1 第二次福岡県観光振興指針（2020年度～2023年度）について ②

● 目標値（KPI）

数値目標	2019年(R1)	2020年(R2)	現 状		目標値 2023年(R5)
			2021年(R3)	目標 達成率	
外国人入国者数	285万人	33万人	0.6万人	0.2%	360万人
延べ宿泊者数	2,042万人	1,059万人	962万人	48%	2,000万人
延べ宿泊者数（外国人）	426万人	62万人	10万人	2%	500万人
旅行消費単価（通常入国外国人）	65,700円	(※1) 76,600円	(※3) —	—	61,500円
旅行消費額 （日本人） （外国人）	9,934億円 (7,996億円) (1,938億円)	3,239億円 (2,979億円) (※2) (260億円)	2,692億円 (2,692億円) (※3) (—)	—	9,700億円
観光関連産業の売上金額	(※4) —	(※4) —	(※4) —	—	8,200億円

(※1) 2020年(R2)の外国人旅行消費額（単価）は調査を中止した期間があるため、2020年1-3月期の実績値を記載

(※2) 2020年(R2)1-3月期の旅行消費単価及び、福岡県訪問率等の実績値から福岡県にて試算

(※3) 2021年(R3)の旅行消費額(単価)は日本人のみ(外国人は調査を中止しているため不明)

(※4) 経済センサス-活動調査の調査結果の公表まで不明

● 4つの施策に係る目標

1 受入環境の充実

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	現 状 2021年(R3)	目標値 2023年(R5)
全国の延べ宿泊者数に占める福岡県の延べ宿泊者数の割合(外国人)	3.7%	3.2%	2.6%	4.0%
インバウンド協力店登録数	1,049店舗	1,078店舗	1,079店舗	2,000店
ふくおかバリアフリーマップ掲載施設数	—	5,566箇所	5,853箇所	9,000箇所

2 観光資源の魅力向上

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	現 状 2021年(R3)	目標値 2023年(R5)
日本人旅行消費単価(宿泊客)	61,500円	49,422円	52,818円	62,000円
旅行商品として販売したインバウンド向け体験プログラムの数	23商品	51商品	84商品	30商品
サイクルツーリズムモデルルート数	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所

3 効果的な情報発信

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	現 状 2021年(R3)	目標値 2023年(R5)
SNSフォロワー数	212,259人	293,218人	330,513人	260,000人
県ホームページセッション数	191万セッション	146万セッション	161万セッション	520万セッション
県ホームページ平均セッション時間	1分05秒	1分13秒	1分07秒	2分40秒

4 観光振興の体制強化

成果指標	2019年(R1)	2020年(R2)	現 状 2021年(R3)	目標値 2023年(R5)
日本版DMO及びDMO候補法人の数	9団体	11団体	14団体	9団体
観光人材育成研修受講者数	244人	846人	1,731人	累計3,800人

令和4年度における主な観光局関連事業について ①

1 受入環境の充実

■ 宿泊業における生産性向上の取組みを支援

① 宿泊業専門アドバイザー等による課題整理及び解決に向けた個別経営支援

- ・「福岡県中小企業生産性向上支援センター」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置。
- ・宿泊専門のアドバイザー（4名）を配置し、今後の観光需要回復期における需要を確実に取り込むため、業務効率化などの現場の改善だけでなく、サービスの向上や新事業展開といった売上向上に関する支援も実施。

申込件数：37件（R4.8.31時点）

② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等を支援

【対象】 上記①のアドバイザーによる支援を経て課題解決に取り組む中小宿泊事業者が実施する
生産性向上に資する設備導入等に対し補助

【補助率等】 補助率：1/2、補助上限額：300万円

申請件数：9件（R4.8.31時点）

2 観光資源の魅力向上

■ 統一的なテーマ設定による資源開発と商品造成を支援

広域観光エリアにおける新たな観光地域づくりの取組

【概要】県内6地域に、複数市町村で構成する“広域観光エリア”を設定。エリア内の市町村、観光協会、商工会議所・商工会をメンバーとする「新たな観光地域づくり検討会」においてエリアのテーマを設定し、体験プログラムの開発、食の新メニュー開発等を実施。

エリア	エリアを構成する市町村	テーマ / 主な取組内容
筑前玄海エリア	宗像市、古賀市、福津市、芦屋町、岡垣町	「イカのまち筑前玄海」／多様なイカの食メニューの開発、フェアの開催
八女・筑後エリア	八女市、筑後市、広川町	「クラフトのまち八女・筑後」／職人の情報一元化、職人との対話を取り入れた体験プログラム造成、長期滞在・再来訪を増やすための取組
飯塚・嘉麻エリア	飯塚市、嘉麻市、桂川町	「エネルギーの源があるまち～ココロとカラダの健康～」／アウトドアアクティビティと食(和牛、ホルモン、卵等たんぱく質を中心に)のコンテンツの充実
京築エリア	行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町	「神楽の里 鬼すごい京築」／「鬼」を強調語の意味で使用し、インスタ映えのスポットのプロモーション、メニュー開発等に展開
久留米・うきは・朝倉エリア	久留米市、うきは市、朝倉市	「ヘルス&ビューティーのまち久留米・うきは・朝倉」／温泉、フルーツ、ハーブ、きれいな水などを切り口にした旅行商品を造成、資生堂工場見学者の滞在を促す
日田彦山線BRT ひこぼしライン沿線エリア	東峰村、添田町	令和5年夏の開業を予定しているBRT開通時における観光プロモーションを視野に、観光資源開発・旅行商品造成等を推進

地域の特色を活かした個性ある宿泊施設整備及び新たな体験プログラム開発等の支援

▶ 個性ある宿泊施設整備補助金

【対象】 エリアの地理的特性や歴史・文化などの地域の特色を活かした個性ある宿泊施設の新規整備又は改修

【補助率等】 補助率：1/2

補助上限額：1,000万円

申込件数：4件（R4.8.31時点）

▶ 新たな観光地域づくり補助金

【対象】 体験プログラム開発、受入環境整備及び観光消費拡大に資する事業

【補助率等】 補助率：1/2

補助上限額：200万円

申込件数：8件（R4.8.31時点）

■ サイクルツーリズムを推進

ディスカバー九州

【概要】 2023年秋に開催予定の国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」の開催にあわせ、サイクリング周遊型旅行商品を展開する「ディスカバー九州」を実施。（ルート調査費用、プロモーション費用について、各県負担金を拠出）

【実施主体】 ディスカバー九州推進委員会

（事務局：九州観光機構、委員：九州・沖縄・山口各県、九経連、九州商工会連合会、九州観光機構）

【実施時期】 令和5年4月～令和6年3月

※現在ルート調査を実施中。

台湾のサイクリストの誘客促進

【概要】 福岡県への旅行者が多く、サイクルツーリズムが盛んな台湾のサイクリスト向け旅行商品造成に取り組む。

【事業内容】 台湾のサイクリスト向けモデルプラン作成、台湾の専門家によるファミトリップ、台湾の旅行会社等への商談

※現在モデルプランを作成中。11月にファミトリップを実施予定。

サイクルツーリズムを通じた新たな旅行需要を創出するための事業開発支援

【概要】 サイクリングツアー催行に必要となるサポートカー事業への参入を促進するため、バス、タクシー、レンタカー等に自転車を積むためのサイクルキャリアの購入や車体改造を支援。

【補助率等】 補助率：1/2

補助上限額：100万円

申込件数：3件（R4.8.31時点）



出典：阿寒観光ハイヤー
ホームページ



出典：国際興業トラベル
ホームページ

3 効果的な情報発信

■ 「福岡避密の旅」及び「新たな福岡避密の旅」観光キャンペーン

新型コロナウイルスの影響により深刻な影響を受けた観光業の需要喚起のため、九州各県・山口県の在住者を対象に、旅行商品の割引支援を実施。(R4.4.8～R4.9.30)

※国は感染状況を見極めた上で、7月前半に対象を全国に拡大する方向で調整していたが、第7波により開始が見送られている。

■ 福岡・大分デスティネーションキャンペーン(DC)

- ・自治体、観光関係者等がJRグループ6社と共同で開催する大型観光キャンペーン
- ・令和6年春に大分県と共同で開催
- ・DCに向けて、観光資源の開発・磨き上げ、おもてなしなどの受入態勢の構築を図る
また、全国に向けた情報発信を強化するため、県の観光情報サイト「クロスロードふくおか」を全面改修

■ 修学旅行需要の回復に向けたキャンペーンを実施

県内外の学校が本県を行程に組み込んだ修学旅行を実施する場合にバス借上料の一部を助成。
(9月補正予算において、誘致目標を400台から800台に拡大)

【補助額】 1日1台当たり5万円

補助申請件数：99件、460台、8,111人 (R4.8.31時点)

■ インバウンド回復に向けたデジタルプロモーションを実施

- ・多言語サイト「VISIT FUKUOKA」やSNSを活用し、ターゲットを絞った情報発信
SNSによる情報発信：中国向け「Wechat」、「Weibo」、台湾・香港、欧米豪向けFacebook
- ・海外の旅行会社向けにオンライン観光説明会を実施 (ターゲット：東アジア、欧米豪)

4 観光振興の体制強化

■ 観光団体のDMO化を加速

① DMO本登録に必要な専門人材の育成講座を実施

- ・DMOの役割を担うために必要な「観光戦略策定・データ分析」、「デジタルマーケティング（プロモーション）」の専門人材を育成するため、県内の市町村や観光団体等を対象に、「ふくおか観光地域づくり共創塾」を開講。

受講者数：のべ25名

② DMO登録要件等に関する相談・指導を行うワンストップ支援窓口を設置

【概要】

- ・DMO候補法人等を対象に、事業計画実施に向けた個々の課題を解決するための幅広い相談を受け付ける「ワンストップ支援窓口」を設置。
- ・県内観光協会等のDMO登録要件に関する相談を受け付けるほか、その課題内容に応じた専門家を派遣。

【支援内容の例】

- ・DMOの機能や役割についての説明、課題抽出のためのヒアリング、DMO登録に向けたロードマップ作成 等

支援団体数：6団体